

韓国・朝鮮語は好きなジャンルの自由テーマで応募者を募集し、7名の応募者の中から上位3名を決めました。全体的にはどのスピーチも素晴らしく、韓国・朝鮮語をツールとして適切に運用している姿がとても素敵でした。スピーチの内容には大差はなく良い仕上がりでした。韓国人に関するものや、韓国文化に関するものなど様々なトピックがあり、段落構成も良く、すべての発表者が表彰に値すると思えました。スコアの違いはスピーチ音声をどれほど適切に運用しているのかでした。「発音」、「声の大きさ」、「速度」、「語調」、「リズムの調節」、「流暢さ」、「ポーズ」、「聞き取りやすさ」のパラ言語の要素に重点を置いて評価を行いました。特に、上位の3名はこれらのパラ言語の要素においても高い評価をもらいましたが、その上、内容をしっかりと把握し、表現の仕方も工夫している様子が見えたので、より楽しく聞くことができました。

今回のコンテストに向けて発表者全員が一生懸命取り組んできたと思います。何度も音読をしたり、暗記をしたりと、たくさんの練習を重ねてコンテストに参加したと思います。これは新しいスタートでもあります。コンテストで培った力を今後の韓国・朝鮮語学習につなげていってほしいです。

(朴 瑞庚)